

図書館だより

○中央 ☎072-950-5501 (月)休館
○陵南の森 ☎072-952-2750 (月)休館
○東部 ☎072-950-2002 (月)休館
○古市 ☎072-958-0050 (月)休館
○ブックステーションはびきのコロセアム ☎072-937-7210 (月)休館
○丹比 ☎072-937-2355 (月)休館
○羽曳が丘 ☎072-958-8653 (月)休館
☎072-957-5553 (月)休館
開館時間 10:00～17:30
休館時間 13:30～16:30 開館
全館休館 毎月最終水曜 (12月を除く・祝日の場合は翌日)

●開館時間 10:00～18:00 (中央は平日 10:00～20:00 土日祝 10:00～18:00)

おはなし会 (4月)			今月の特集テーマ	
中央図書館	5日(出) 19日(出)	11:00～	一般	あなたの?を!にお役立ち☆
	13日(出) 27日(出)	14:00～	児童	はるがきた!
	19日(出)	15:00～	特集1	あなたの「はじめて」の本おしえて
陵南の森図書館	6日(出) 13日(出) 26日(出)	11:00～	特集2	おともだち
	19日(出)	15:00～	特集3	図書館が出てくる本
	20日(出) (小さい子向け)	11:00～	一般	図書館で知る ～2025 大阪・関西万博～
	20日(出) (少し長い話を聞ける子向け)	11:30～	児童	春はいろいろ
東部図書館	9日(出)	10:30～	昭和レトロ	
羽曳が丘図書館	12日(出) 26日(出)	11:00～	はじめまして!円滑なコミュニケーション	
古市図書館	定例のおはなし会はあります		一般	世界の国々
			児童	ほかほか「はる」がやってきた♪
丹比図書館	26日(出)	10:30～	花・野菜	

おはなし会ボランティア入門講座(全4回)

日時 6月4日・11日・18日・
7月2日(出) 10:15～12:00
※4回連続講座です
場所 中央図書館 多目的室
講師 羽曳野市子ども文庫連絡会・
おはなしの森の皆さん
定員 10人 (先着順)
対象 おはなしボランティアに関心のある
大人の方なら、どなたでも参加でき
ます
申込 4月1日(出) 9:00より
図書館ウェブサイトにて先行受付
4月8日(出) 10:30より
中央図書館にて受付 (電話可)

春のシニアのおはなし会

日時 4月10日(出) 15:10頃～
(ラジオ体操終了後)
場所 陵南の森 歴史資料室
出演 おはなしの森
プログラム 「朝日長者と夕日長者」ほか
申し込みは不要です。どなたでも参加できます。

館内整理日のお知らせ 4月30日(出)

毎月最終水曜日 (12月を除く) は館内整理日
のため、市内の図書館は全館休館となります。
図書の返却はブックポストにお願いします。
(CD・DVDなどや、他自治体からの借用
図書はポストには入れないでください)

子どもの本寄贈のお願い

羽曳野市では、「子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの読書環境を整えるための様々な活動を行っています。その一環として、5月には陵南の森図書館にて下記のとおり「こどもの本ゆずります! PASS THE BOOK FES」イベントを実施する予定です。皆様のご家庭に、お譲りいただける児童書・絵本などがありましたら、最寄りの図書館までお持ちくださるようお願いいたします。提供していただいた本は、同一イベントに使用するほか、図書館・市内の学校園などの公共施設で活用させていただきます。

こどもの本ゆずります! PASS THE BOOK FES

日時 5月18日(出)
10:30～12:00 (未就学児とその保護者) 11:00～12:00 (小学生～高校生) 13:30～15:00 (どなたでも可)
場所 陵南の森総合センター 2階研修室1・2
4月19日(出)～5月18日(出)の期間に、陵南の森図書館で資料を3点以上借りると交換券をお渡しします。
交換券1枚で本などの資料を1点お持ち帰りいただけます。

雑誌スポンサーを募集します

市立図書館では、令和7年度の雑誌スポンサーとなってくださる企業、商店、団体を募集します。
スポンサーになると、図書館の雑誌にスポンサー名と広告をつけることができます。
期間 令和7年7月1日～令和8年6月30日 (年度途中での申し込みも随時受付)
募集要項その他の詳細は、図書館ウェブサイトをごらんください。

羽曳野市立図書館ウェブサイト
各イベントの詳細・Logoフォームからの申し込みはこちらからどうぞ

サラダボール

元日の朝、外に出ると寒さで身体が縮むような感覚の中、新しい年の空気を吸おうと大きく深呼吸をしました。冷たいけれど、どこか新しく、今年もどうぞよろしくと自分自身に伝える気持ちになりました。そんな気持ちのまま、初詣に出かけた時のこと。神社にある大きな階段を3歳ぐらいの女の子が手すりを握りながら、一生懸命にのぼっています。その様子を下からほほえましいと感じながら見ていると、上からおじいさんが同じように手すりを握りながらのぼっていました。ちょうど階段の真ん中あたりにさしかかった時に、女の子はおじいさんがのぼりてきている

ことに気づきました。すると、女の子はすっと手すりから手を放し、横によけ何も持たずにのぼっていき上りました。上からおりてきたおじいさんは、その様子を見て「ありがとうね。」と女の子に声をかけました。女の子はとても嬉しそうな顔をしていました。それを見ていた周りの人にもにこにこしていました。階段の真ん中で一人ひとりの心がほんのり温かくなったことを感じました。

学校現場でも、子どもたちがお互いに「思いやる」行動や言葉に、心が温かくなる場面がたくさんあります。友だちとけんかした子がいた時に「どうしたん?」「大丈夫?」と声をかける子がいたり、泣いていたなら、隣に座って何も言わず、ずっと待っていてあげる子がいたり、という場面を

何度も見てきました。また、それを見ていた子どもたちが、2人、3人と集まってきて同じように寄り添ってくれるのです。けんかをして、モヤモヤしていた気持ちを友だちが温めてくれ、その温かな気持ちが他の子にも広がっていくのです。

お互いの「思いやる」気持ちは一人ひとりの心を温かくするとともに、周りにもその温かさは広がっていきます。また、その温かさはその人の中にあり続け、同じような場面に出くわした時に、行動や表情、言葉として温かさを届けてくれます。そんな温かな気持ちがたくさん広がっていけば、素晴らしいですね。

はびきの し じんけんけいはつすいしんきょう かい
羽曳野市人権啓発推進協議会